

ちば修平

しゅうへい

仙台市議会議員(太白区)

市政報告 Vol.6

令和5年4月10日

《発行人》ちば修平
《会派》自民党
《事務所》〒982-0807
仙台市太白区八木山南二丁目1-74

《TEL&FAX》
022-796-2570

メール shuric009@gmail.com
公式HP <https://chiba-shuheij.jp>

未来に誇れる仙台へ！ 松下政経塾出身 元全国紙記者

ちば修平
プロフィール



生年月日 | 昭和50年1月24日

出身校 | 私立太白すぎの幼稚園
仙台市立上野山小学校
仙台市立山田中学校
宮城県仙台第一高校(高45回)
北海道大学(法学部)
京都大学大学院(公共政策専攻)

職歴 | 毎日新聞 記者
公益財団法人松下政経塾(第30期)

役職 | 自民党会派・副政調会長
市民教育委員会・副委員長

活動 | 仙台市立八木山南小学校 PTA会長
八木山駅前商店会 顧問
太白消防団八木山分団 所属

尊敬する人物 | 白洲次郎・原敬・松下幸之助

家族 | 妻・長男(8歳)

趣味 | 茶道(裏千家)
剣道(二段)

3つの強み コミュニケーション力 × 構想力 × 政策実現力

ご挨拶

日頃よりの温かいご支援に感謝申し上げます。仙台市議会議員としての任期も残すところわずかとなりましたが、皆様のお力添えを頂きながら、志を持ち日々全力で活動しております。令和5年度の予算案等を話し合う第一回定例会は、1か月にわたる議論の末、一般会計6147億円、総額1兆1891億円の予算案を可決し、閉会しましたので、概要をご報告させていただきます。ご一読いただければ幸いです。引き続き、皆様のご指導、ご支援のほど、宜しくお願いいたします。

「太陽光発電施設規制条例」が成立

解説 千葉が6回にわたり、太陽光発電施設開発に伴う問題点と規制条例の必要性について、市議会でも取り上げてきましたが、その後、自民党主導で超党派の政策立案会議を立ち上げ、議員立法で実現しました。保険加入の義務化や、今後、見込まれる太陽光パネルの大量廃棄時代に向けたリユース、リサイクルの努力を課すなど、先進的な内容となりました。

弱視の屈折検査の専用機器導入が決定

解説 令和4年第四回定例会の一般質問で提案していました。令和5年度中に、3歳児健診の際、「フォトスクリーナー」を用いた屈折検査が始まります。弱視は小学校入学までに治療を完了することが有効で、今回は大きな前進です。「視能訓練士」の配置も決まりました。

仙台市立八木山中学校体育館の部分改修が決定

解説 老朽化が著しく、避難所にも関わらず、令和元年の台風では雨漏り。住民の意向を受け、令和2年3月の予算等審査特別委員会でこの問題を取り上げ、さらに市教委担当者を連れ現地視察も行いました。この結果、今回、屋根改修工事、照明のLED化、トレイの洋式化工事が行われます。

マイナカードで印鑑登録証明の窓口申請可能へ

解説 市民から、「印鑑登録証明書の窓口申請がマイナカードでできず、非常に不便」との訴えが千葉にあり、市当局のヒアリングの結果、条例改正が必要と判断。その数日後には、令和5年度予算等審査特別委員会の会派代表の総括質疑に盛り込んでもらい、市は条例改正を行う方針を示しました。

議会活動成果の「報告

仙台市民の安全を守る！

中国の偵察気球

一般質問

令和5年第一回定例会

再び、中国の偵察気球が出現した時、本市に対して適切かつ迅速に情報が共有されるよう国に求めるべき

解説

令和2年6月に本市上空で目撃された、中国の無人偵察気球。当時、国からの情報提供は全くなく、宮城県警がヘリを飛ばし警戒に当たったものの、特に住民への周知警告はなかったとのこと。中国の意図は不明ですが、気球は小型ジェット機並みの大きさで、ソーラーパネルや複数のセンサーを搭載し、重さは約1トンとのこと。万が一、居住地域で落下した場合には、残骸による市民への危険を及ぼしかねないと考えます。また、搭載物もかなりの重さのものを搭載可能との報道もあり、そのリスクが懸念されます。

仙台の未来を創る！

人口減少対策

一般質問

令和5年第一回定例会

生命をつなぐ意味、子供を産み育てることと妊娠率と年齢の関係、家庭を築くこと、自立すること、人口減少・少子高齢化の現状などを学ぶ「ライフプラン教育・啓発」の充実で、自分なりの価値観の養成を

解説

少子化の主な原因は、合計特殊出生率の対象年齢である女性の15～49歳の絶対人口減に加え、「婚姻数の減少」と指摘されています。さらにコロナ禍で婚姻数の減少は16万6000件、今後、埋め合わせがなければ「失われる出生数」は25万5000人に及ぶとの試算も。従来の少子化対策だけでは、少子化の傾向に歯止めをかけることは難しいことが明らかになってきており、政府提言等には、「少子化対策としての婚姻支援」という文言が入るようになりました。結婚、妊娠・出産は、個人の自由な意思決定に基づくものであり、個人個人の決定に特定の価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えたりしない配慮をしつつも、次世代に命をつなぎ、国と国民の繁栄と幸福を存続させるための方策を、本市として講じることが重要だと考えます。

仙台の街並みを創る!

「仙台門松」で伊達文化の薫るまちを!

一般質問

令和5年第一回定例会

仙台藩伝統の「仙台門松」を復活させ、伊達文化の風情漂うまちにしようという市民発のプロジェクトを後押し、本庁舎のしかるべき場所に仙台門松を飾ってはいかがか。

市長

建て替え工事との調整を図りながらですが、市役所庁舎においてもご覧頂けるよう取り組んで参りたい。

解説

当初は仙台市博物館が中心となって復元し、市内8か所の歴史、文化系の社会教育施設の施設内に飾られています。この流れを発展させ、大学教員や経済人らが作る一般社団法人「心のふるさと創生会議」が「仙台門松を市内に飾ろう」を合言葉に普及活動を開始、口コミで広がり、今回は、年末年始まで、クリスマスロード商店街にある西村呉服店など、16箇所に飾られたということです。目標は、古文書に門松の資材42組が仙台北に献上されたとの記録にちなみ、42か所を目標にしているということです。



八木山動物公園駅周辺のまちづくり

一般質問

令和5年第一回定例会

生活利便施設等が不足する八木山動物公園駅前のポテンシャルを再考し、双方向的なまちづくりを。

解説

住民による市民活動などソフト面が活発で、休日には動物園や八木山ベニーランドの利用者でにぎわう八木山地区ですが、一方で、東西線開通から7年が経過し、他の地下鉄駅沿線の地域に比べ、商業施設などの生活利便施設が不足しているように見受けられます。

「東西線沿線まちづくりの基本方針」(平成25年刊行)では、八木山動物公園駅は、交通結節駅であり、西の起点駅として新たな顔となる駅前地区を創造する、駅を核とする地域の活性化との方針が掲げられ、利用者が駅前地区における滞在を楽しめるような商業施設や、スーパーや飲食店、医療施設等の暮らしに必要な生活サービス施設を誘導する方針でした。しかし、令和3年度末に策定した「沿線まちづくりの基本方針」や「東西線沿線まちづくりプラン」における「八木山動物公園駅前地区」のまちづくりにおいては、商業施設等の誘導に関する具体的な取り組みが示されていません。

今後において、高齢化がさらに進み、歩いて行ける距離の小規模スーパーや飲食店を望む声や、若い世代の住み替えが進み、子供と一緒に滞在できる商業施設を望むなど、住民のニーズは、時代とともに変化し続けています。来年度は、沿線まちづくりプランの短期評価・検証等を進める時期であり、この機会に、住民のニーズを聞くべきだと考えます。

1月



3年ぶりの消防出初式に副委員長として参加

2月



一般質問に登壇 4年間一度も休まず

活動報告

3月



12年目を迎えた東日本大震災追悼式に参加

令和5年度予算等審査特別委員会

予算質疑

【スタートアップ・エコシステム推進事業(予算額1億97万円)】

アフターコロナを見据えた都市間競争において経済の重要性が増す中、経済専任の副市長を。また、専門人材を活かす戦略的な人事を

解説

世界を変えるスタートアップを生み出し、世界中からソーシャルイノベーター(社会的起業変革者)が集う都市へと目標を掲げ、また、重要業績評価指数(KPI)として、2024年度に向けスタートアップ300社、資金調達額50億円、ユニコーン創出1社との野心的な目標を盛り込んだのが、昨夏にまとめられた「スタートアップ戦略」です。今回の事業はその第一歩であり、次世代放射光施設を中核とするリサーチコンプレックス形成と共に、これからの本市の未来を切り拓く最重要政策の一つだと考えます。

予算質疑

【南部拠点・長町「賑わいの交流拠点」形成促進の事業(予算額800万円)】

長町エリアは仙台駅周辺、一番町に次ぐ賑わいの交流拠点を目指すべき。「回遊性」向上を

解説

長町商店街エリアは、商店と住宅の隣接地域であり、生鮮食品の店や、蛸薬師如来等の歴史的空間も残り、下町情緒が残っています。これらの元々の素材に加えて、キッチンカーや仮店舗の活用で魅力的な新店舗の誘致を促進することや、例えば、イベントの際、旧国道4号線を「歩行者天国」にするなど、ゆっくりと歩いてまちの魅力を味わうことができ、深く知ってもらう機会になると考えます。また、夜の回遊性も視野に入れるべきだと考えます。空き店舗を活用してゲストハウス等の簡易宿泊施設を整備することで、日中に街歩きをしてもらうだけでなく、夜はプロバスケットの試合を楽しみ、また、昭和の雰囲気漂うレトロな横丁の居酒屋をはしごしたりして楽しんでもらい、翌朝のまち歩きも楽しんでもらうことができると考えます。アクアイグニスとの連携も大切です。

令和5年度の主な事業

事業名	内容
子ども医療費助成の所得制限撤廃(3億9407万円)	4月から0歳~中学3年の医療費を無償化(初診や入院時に一部自己負担あり) 新たに1万5000人が対象見込み
出産・子育て応援給付金など(7億9626万円)	妊娠時、出産時に5万円づつ、計10万円給付する
小学校の35人以下の学級編成を5年生まで拡充(1億2809万円)	1~4年生だけでなく、5年生にも広げる
「仙台子ども財団(仮称)」設立(1300万円)	子育て支援を行う外郭団体 子ども・子育てに関する調査研究、人材育成、民間支援団体や企業などとネットワークを構築するなど、中長期的な視点から子育て関連施策を推進
全市立小中学校にデジタルドリル導入(7668万円)	タブレット端末を活用し、各児童、生徒の苦手分野を把握し習熟度に応じた学力向上を狙う
スーパーシティ等推進(1億7700万円)	東北大学や民間事業者と連携し、複数分野のデータ連携による先進的なサービスの創出と実装を図る
区役所窓口のDX推進(1054万円)	マイナンバーカード活用で、区役所窓口で申請書への記入負担を軽減する 「書かない窓口」システムを導入する
インバウンド推進(7189万円)	「コロナ後」を見据え、外国人観光客誘致のため仙台や東北の観光地を含む旅行商品の販売やタイ・台湾へのトップセールスを実施する

詳しい一般質問や質疑応答は

仙台市議会インターネット議会中継

